



エコマーク ニュース

Eco Mark News

エコマークは公益財団法人日本環境協会が自主的に運営している事業です。エコマークの活動予算は、すべて認定企業の皆様からのエコマーク使用料ならびに商品認定申込者の皆様からの商品認定審査料でまかなわれています。「エコマークニュース」では、「エコマーク事業実施要領」に基づき、エコマーク事業に関する情報を提供しています。

2014.1.20 No.91

2013年度「エコマークコミュニケーションフォーラム」のご案内

エコマークでは、消費者、事業者等ステークホルダーが集うコミュニケーションの場として、「エコマークコミュニケーションフォーラム」を開催いたします。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

- ◆日 時：2014年2月4日（火） 14：00～17：00（13：30開場）
- ◆場 所：東京ウィメンズプラザ・ホール（東京都渋谷区神宮前5-53-67）
- ◆参加費：無料（定員200名、先着順）
〈プログラム（予定）〉
 - ・「エコマークアワード2013」表彰式
 - ・パネルディスカッション（ゲスト：エコマークアワード受賞団体、学識者など）
 - ・エコマーク年次活動報告

- ◆お申し込み方法：参加申込書にご記入の上、EメールまたはFAXにてお申し込みください。
定員に達し次第、受付を終了させていただきます。

* 詳細については、エコマーク事務局のウェブサイト（<http://www.ecomark.jp/info/forum/2013.html>）をご覧ください。

エコマークアワード2013 受賞者決定！

「エコマークアワード2013」の受賞者が決定しました。

「エコマークアワード2013」受賞者	
金 賞	コンビ株式会社 赤ちゃんの将来を考えたベビーカー・ベビーシート・ベビーラックの回収リサイクルエコアクトサービスの提供
銀 賞	新日本流通株式会社 歴史あるリユースの優等生1.8Lびんを支える「6本プラ箱」と「エコマーク」 パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社 地上・BS・110度CS デジタルハイビジョンテレビ「ピエラ」
銅 賞	株式会社スーパーホテル スーパーホテル LohasJR 奈良駅の取り組み
プロダクト・オブ・ザ・イヤー	ダイエー浄化槽 FCE 型 [認定番号：12 151 001]（大栄産業株式会社） ダイキ浄化槽 XE 型 [認定番号：13 151 001]（株式会社ダイキアクシス）

次号のエコマークニュースにて、「エコマークアワード2013」表彰式の様子をご報告いたします。

認定基準に関するお知らせ

認定基準の制定

以下の認定基準が制定されましたので、お知らせいたします。

類型番号	商品類型名	制定日	有効期限
140	詰め替え容器・省資源型の容器 Version 1.7 (適用範囲の拡大) 分類C：無菌包装米飯容器 分類D：軽量PETボトル (容器) 分類E：食品用器具および容器包装における再生材料を使用したPETボトル (容器)	2013年10月1日	2017年6月30日
154	太陽熱利用システム Version 1	2013年10月1日	2020年9月30日

◆認定基準は (<http://www.ecomark.jp/nintei/>) をご覧ください。

委員会報告

運営委員会 (第31回)

第31回運営委員会が、2013年10月3日に開催されました。議事内容は以下のとおりです。

〈議事内容〉

1. 2012年度 (平成24年度) エコマーク事業収支決算

2. 2013年度 (平成25年度) エコマーク事業の進捗状況について

◆資料等詳細は (http://www.ecomark.jp/office/organization/steering_data/) をご覧ください。

イベント・キャンペーンのお知らせ

「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を実施しています

1月16日～2月15日の1カ月間、愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市と事業者等が協働し、消費者に対してグリーン購入をPRする「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を実施しています。エコマーク事務局は、期間中に各地で行われるキャンペーンイベントに出展します。

また、本キャンペーンには多くのエコマーク使用契約企業に協賛いただいております、懸賞商品の提供やイベ

ント実施において、味の素ゼネラルフーズ(株)、(株)エフピコ、サラヤ(株)、(株)J-オイルミルズ、シヤチハタ(株)、ゼブラ(株)名古屋支店、(株)トンボ鉛筆、ミドリ安全(株)、(株)美濃商会の各社にご協力いただきました。

詳しくは、(http://www.eco.pref.mie.lg.jp/earth/100100/iso_campaign/index.htm) をご覧ください。

こどもエコクラブ全国フェスティバルに参加します

3月23日に早稲田大学にて開催される「こどもエコクラブ全国フェスティバル2014」に参加します。このイベントは、地域の中で環境活動を行っているこどもエコクラブのうち、全国47都道府県の代表クラブが集い、日々の活動紹介等を通じて相互の交流を深め

るものです。エコマーク事務局はイベント内の団体展示コーナーで、環境に対する意識の高い子どもたちに、パネルや認定商品の展示を通してエコマークを紹介する予定です。

新 認定商品のご紹介

**エコマーク認定のベビーラック、ベビーカーが登場
——使用済み商品の資源循環を推進**

乳幼児の生育において重要な役割を担うベビーカーやベビーラックなどの商品は、子どもの成長段階に応じて使われるものであり、使用期間が限られています。この分野における資源循環の促進に向け、事業者による取り組みの充実が期待されています。

こうした状況を踏まえ、エコマークでは2013年5月に新規商品類型No.153「乳幼児用品 Version 1」において、省資源・資源循環、有害物質の使用削減、情報提供など、総合的な観点から環境負荷低減を促進するための認定基準を制定しました。これを受け、コンビ株式会社の2つの商品がエコマーク認定を取得しました。

■環境配慮商品の認識向上を目指す

コンビ(株)はベビー用品業界で初めてISO14001の認証を取得し、環境マネジメントシステムの運用を通じて事業活動に伴う環境負荷の低減に努めるとともに、自主基準に基づく環境配慮商品の開発に取り組んできました。また、子会社のコンビウイズ(株)では、ベビー休憩室用のベンチやシートにおいてエコマークの認定を取得してきました。

同社では、赤ちゃんを産み育てていく購買層に環境配慮商品への関心や環境ラベルに対する認識を高めてもらう、という観点からエコマーク認定に取り組み、

商品類型「乳幼児用品」において第1号となるベビーラック「コンビ エコアクト ルシエス AUTO SWING」(認定番号13 153 001)、続いてベビーカー「コンビ エコアクト グランパセオ LA-480」(認定番号13 153 002) が認定を取得しました。

■独自の回収・リサイクルサービスを運営

乳幼児用の商品においては、安全性が極めて重要な要素になります。こうしたことからコンビ(株)では、商品の開発において安定性や堅牢性を確保しつつ、リサイクル時の解体容易性も重視した設計を行いました。また、解体プロセスの試行を通じて作業をマニュアル化し、リサイクルの効率化を図っています。

同社では使用済み商品の回収・リサイクル体制を整備し、国内のベビー用品メーカーとして初となる無料引き取り・リサイクルサービスとして「エコアクト」を運営しています。対象商品の購入者はユーザー登録を行い、商品を使用しなくなった段階(購入から2年~7年の期間内)で窓口回収依頼の連絡をします。ユーザーを訪問して回収された商品は、1台ごとに手作業で解体され、素材の選別を経て高度なマテリアルリサイクルが行われます。

また、同社は業界で初めて、廃棄物処理法に基づく広域認定制度の認定を受けました。こうした対応を通じて、事業者の責任により消費者に負担をかけずに使用済み商品を一般廃棄物として回収し、適正な処理を行う仕組みを確立しました。

利用者の愛着や思い出が詰まっている乳幼児用品を、ごみとして廃棄するのではなく、リサイクルを通じて有効に活用したい——「エコアクト」はこうした考えから生まれたサービスであり、コンビでは今後もサービス対象商品、エコマーク認定商品の拡大を通じて資源循環を推進していく予定です。

◆コンビ(株)「エコアクト」のウェブサイト
<http://www.combi.co.jp/products/ecoact/concept.html>



エコマーク認定の「コンビ エコアクト ルシエス AUTO SWING」(左)
「コンビ エコアクト グランパセオ LA-480」(右)

トピックス

日中韓相互認証活動報告

2013年9月、中国、韓国との相互認証に関する実務者会議が札幌で開催され、次の対象カテゴリであるDVD機器およびテレビの共通基準項目の確認作業等

を行いました。これを受け、2013年10月に、日中韓の三カ国は「DVD機器の共通基準の合意書」を締結しました。

世界エコラベリング・ネットワーク（GEN）年次総会に出席しました

2013年11月5日～8日、GEN年次総会がベルギー・ブリュッセルで開催され、世界50カ国以上から環境ラベル団体、環境省等行政機関の担当者などが出席しました。

環境ラベルを通じたグリーンマーケットへのチャレンジというテーマで開催された本会議では、さまざまなワークショップなどを通じて活発な情報交換が行われました。

地域の環境イベントに出展しました（佐久市、北九州市）

2013年10月5日、6日に長野県佐久市で開催された「環境フェアin佐久」、ならびに10月19日、20日に福岡県北九州市で開催された「北九州エコライフステージ」にそれぞれ出展しました。各地のエコマーク使用契約企業には、商品展示においてご協力いただき

ました。今後も各地のイベント出展を進め、エコマークの普及に努めてまいります。



セミナーを開催しました（ドイツ・欧州の環境事情、アジアのグリーン公共調達）

2013年11月12日、ドイツ在住の環境コンサルタント望月浩二氏を講師に迎え、「ドイツ・欧州の最新環境事情セミナー」を開催しました。

また、12月12日に「アジア市場におけるグリーン公共調達と環境ラベル」セミナーを開催し、韓国、タ

イの環境ラベル団体担当者より、各国の公共調達制度と環境ラベルについてお話しいただきました。（アジアの公共調達セミナー資料：http://www.ecomark.jp/info/event/seminar_ecopro2013.html）

「エコプロダクツ2013」に出展しました

2013年12月12日～14日に開催された「エコプロダクツ2013」では、エコマークが考慮する4つの重点領域を紹介し、エコマーク商品が認定されている背景を理解いただく展示を行いました。ご来場の皆様、商品や資料の提供にご協力いただいた企業の皆様には、

厚くお礼申し上げます。



エコマークニュース 第91号 2014年1月20日発行

編集・発行／公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9F

TEL：基準・認証課 03-5643-6253 FAX：03-5643-6257（各課共通）

総務・契約監査課 03-5643-6255

普及・国際協力課 03-5643-6255

Homepage：<http://www.ecomark.jp>

E-mail：info@ecomark.jp



エコマークは（公財）日本環境協会の登録商標です。